

カーシェアリングステーション立地の計量分析*

島根 哲哉†

概要

複数の利用者で自動車を共同利用するカーシェアリングは、都市部を中心に普及が進みつつある新しい自動車の利用形態であり、その運営は様々な主体により担われている。営利目的のカーシェアリング事業には、様々な事業背景を持つ企業が活発に参入をしてきた。典型的な運営形態は、利用者のごく近くに設置したカーシェアリングステーションに自動車を配置し、あらかじめ登録した利用者にもみ貸し出すことで、省力化を図りつつ、生活の足としての短時間の自動車利用サービスを実現している。

その結果、カーシェアリングの利用者は、ごく近くのステーションのみを利用すると思われる。そのため、一定の距離を置いたステーションの間では利用者を競合することも限られ、異なる市場区分と見做すこともできると考えられる。本研究では、カーシェアリングステーションの立地選択を空間的なメッシュ区画で構成される市場区分への参入ゲームとして捉える。これにより競合企業のステーション設置が、企業のステーション立地選択の戦略的判断にもたらす影響を明らかにし、近隣の豊富な活動実績の蓄積が優位な事業展開を可能にするメカニズムを明らかにする。

* 本研究は JSPS 科研費 17K03675 の助成を受けたものです。

† 東京工業大学 工学院 shimane.t.aa@m.titech.ac.jp